

海洋教育パイオニアスクールプログラム

成果報告書

○学校名

岡山県立真庭高等学校落合校地

○活動テーマ例

高校生による「山と海をつなぐ匠への聞き書き」～山を守ることで、海を守る～

○実践のねらい

・海と山の関係と、それらの保全についての理解の深化と発信。

「聞き書き」を通して、海の保全のために必要な山や川の役割についての理解を深め、発表会や聞き書き冊子の発刊等により、多くの人に海洋保全について知ってもらう機会とする。

・海と共生できる人材の育成

海や山での経験や「聞き書き」で得た学びを通じて、人間性を涵養し、海と共生する自然観について学び、海との共生に求められる資質・能力を育む。

・アクティブラーニングの実践

「聞き書き」を通じて、生徒一人一人が主体的・対話的・協働的に取り組むことで、より深い学びの実践を目指す。

○実践計画

山や海の環境保全に関わっている人を対象に「聞き書き」を実施する。事前学習として1、2年生を対象に森林資源の活用を見学するバイオマスツアーを実施するほか、「聞き書き」のリーダーとなる生徒を募集し、研修会を行う。研修では海に近い地域にある高校の生徒たちと共に学び、海とのつながりを意識し、「聞き書き」の意義について考える。

研修後、リーダーになった生徒を中心に山の保全に取り組む匠に聞き取りを行い、生徒一人一人が主体的・対話的・協働的に取り組む態度の育成を目指す。聞き取り実施後、文章作成作業を行い、書き起こした文章を持ち寄り、文章構成に関する研修会を行う。研修会には、「聞き書き」に参加した生徒が集まり、表現力や読解力等の向上を図り、言語活動能力の育成を図る。2017年度は、海に関する「聞き書き」を行っている生徒が中山間地域にある本校へ出向く。生徒同士が交流し、学び合うことで、山、海の文化やつながりについての理解をより深める。

文章構成等が決定し、文章作成を行う。その後、参加した生徒による「聞き書き」の成果発表会を一般に公開して行う。完成した文章は、一つの冊子にまとめ、「聞き書き 2017」として出版する。

本取組は、主体的・協働的・対話的に学ぶ姿勢が求められるため、アクティブラーニングの実践にも繋がる。

海洋教育パイオニアスクールプログラム

成果報告書

○今年度の実践

■平成29年 6月24日(土)「聞き書き」研修会 @岡山大学医学部Jホール(岡山県岡山市)

参加生徒：28名〔1年生6名(男子0名・女子6名), 2年生22名(7名・15名)〕

◎講演『聞き書きとは』澁澤寿一先生(NPO法人共存の森ネットワーク理事長)

◎ワークショップ『聞き書き手法』前田芳男先生(岡山大学地域総合教育センター副センター長)

【ねらい】聞き書きについての手法を学ぶ。

■平成29年 7月29日(土)～30日(日)「聞き書き」宿泊研修会 @白石島(岡山県笠岡市)

参加生徒：18名〔1年生3名(男子0名・女子3名), 2年生15名(4名・11名)〕

◎講演『海と山のつながり』澁澤寿一先生(NPO法人共存の森ネットワーク理事長)

◎講演『海ごみについて』原田茂先生(白石島の方)

【ねらい】「聞き書き」についての手法を学ぶ。海と山のつながりに関して理解を深める。

■平成29年 7月～8月 「聞き書き」実践活動 @真庭市内を中心とした18カ所

参加生徒：18名〔1年生3名(男子0名・女子3名), 2年生15名(4名・11名)〕

【ねらい】海や山, 地域に根ざして暮らす人生の先輩(『匠』)を訪ね, 知恵や技術やものの考え方・生き様などを聞き取り, 話し言葉だけで文章にまとめることにより, 個々の生徒のコミュニケーション能力・傾聴力の育成を目指すとともに, より豊かな情操の育成を目指す。

■平成29年11月19日(日)

バイオマスツアー・書き起こし講習会 @津黒ふれあいの里・真庭高校落合校地(岡山県真庭市)

参加生徒：13名〔1年生2名(男子0名・女子2名), 2年生11名(4名・7名)〕

◎講習『書き起こしと文章構成』室貴由輝先生(岡山後楽館高校教頭)

【ねらい】森林整備体験により山への理解を深める。書き起こしについての手法を学ぶ。

■平成29年12月23日(土)「聞き書き」フォーラム @笠岡市民会館(岡山県笠岡市)

参加生徒：18名〔1年生3名(男子0名・女子3名), 2年生15名(4名・11名)〕

◎振り返りワークショップ

◎トークセッション『海から山をつなぐ そして未来へ』澁澤寿一先生・前田芳男先生・室貴由輝先生

◎参加6校による実践発表(笠岡工業, 矢掛, 倉敷中央, 岡山後楽館, 真庭, 津山工業)

【ねらい】1年間の活動を振り返る。各校の取組・学びを共有する。

■平成30年 2月 成果冊子「聞き書き2017」出版

【ねらい】山や海についてより多くの人に知ってもらう好機とする。

海洋教育パイオニアスクールプログラム

成果報告書

○成果と課題

- ・「聞き書き」を通じて、生徒は世代を超えた人と関わりながら、山、海の文化やそれらのつながりについて学ぶことができた。
- ・冊子作成により、山や海についてより多くの人に知ってもらう好機となった。
- ・生徒一人一人が主体的・対話的・協働的に取り組むことで、学びに向かう力・人間性の涵養等、これからの時代に必要となる資質・能力の育成が図れた。
- ・地域住民の生活に触れることで、故郷への愛着、誇りを持つきっかけとなった。また、匠の人生を知り、生き方を学び、先人の叡智や伝統文化、技などに触れ、未来へ繋ぐことで、持続可能な社会づくりに寄与できた。
- ・『匠』に話を聞きに行く回数を増加させ、『匠』の職業や暮らしている環境についてより深い理解を得ることが出来れば、さらに内容が密なものになるであろうと感じられる。

○主な関連機関及び内容

- ・備中「聞き書き」実行委員会（研修や冊子作成）
- ・岡山大学（研修や冊子作成）

高校生による「山と海をつなぐ匠への聞き書き」～山を守ることで、海を守る～

実践のねらい

海と山の関係と、それらの保全についての理解の深化と発信 海と共生できる人材の育成 アクティブラーニングの実践

活動計画

- ・山や海的环境保全に関わっている人を対象に「聞き書き」を実施
- ・研修では海に近い地域にある高校の生徒たちと共に学び、海とのつながりを意識し、「聞き書き」の意義について考える
- ・文章構成の研修を通して、表現力や読解力等の向上を図り、言語活動能力の育成を図る

地域に根ざして暮らす人生の先輩（『匠』）を訪ね、知恵や技術やものの考え方・生き様などを知る。

12月23日（土）「聞き書き」フォーラム @笠岡市民会館

バイオマスツアー・書き起こし講習会
@津黒ふれあいの里・真庭高校落合校地

7月～8月 「聞き書き」実践活動

@真庭市内を中心とした18カ所

6月24日（土）「聞き書き」研修会 @岡山大学

7月29日（土）～30日（日）

「聞き書き」宿泊研修会 @白石島

2月 成果冊子 「聞き書き2017」出版

主な関連機関及び内容

- ・備中「聞き書き」実行委員会（研修や冊子作成）
- ・岡山大学（研修や冊子作成）

主な成果

- ・「聞き書き」を通じて、生徒は世代を超えた人と関わりながら、山、海文化やそれらのつながりについて学ぶことができた。
- ・地域住民の生活に触れることで、故郷への愛着、誇りを持つきっかけとなった。また、匠の人生を知り、生き方を学び、先人の叡智や伝統文化、技などに触れ、未来へ繋ぐことで、持続可能な社会づくりに寄与できた。